

3. まとめ

令和元年度は、管路施設の点検・調査や老朽管の改築など下水道施設の適切な維持管理に努めてきたほか、浸水リスクの高い地区への優先的な雨水排水施設整備や流出抑制施設の設置などの総合的な浸水対策、地震対策にも取り組み、事業はおおむね計画通りに進捗しました。

今後、下水道事業は経営資源が減少していく中で、老朽化対策など施設の改築費用は増加し、より一層厳しい経営状況になることが見込まれます。そのため、「仙台市下水道事業中期経営計画」に基づき、費用とリスクのバランスを図りながら効率的・効果的な事業運営に努め、市民の皆さまの安全・安心な暮らしを支える役割を果たせるよう取組みを進めてまいります。

〈仙台市ホームページもご覧ください〉

この「お知らせ」で紹介した取組みの他にも取組み実績をとりまとめています。詳細は、仙台市ホームページに掲載している「仙台市下水道事業中期経営計画進捗レポート」をご覧ください。（仙台市ホームページのトップページのサイト内検索から検索できます。）



仙台市煉瓦下水道「杜の都れんが下水洞窟」

明治 33（1900）年に築造され 120 年経った今でも現役のレンガ製の下水管で、平成 22（2010）年に土木学会選奨土木遺産に認定されました。青葉区西公園 C60 広場（SL 広場）そばの地下に埋設されています。

令和 2 年 10 月

編集・発行 仙台市建設局下水道経営部経営企画課
〒980-8671
仙台市青葉区国分町三丁目 7 番 1 号
TEL 022-214-8509

下水道の今をお知らせします

仙台市下水道事業中期経営計画の令和元年度における進捗状況

1. 「お知らせ」の目的

下水道は、市民の皆さまが日常生活で使用した水をきれいにする「汚水処理」と、大雨からの被害を軽減する「雨水排除」の 2 つの役割を持つ重要なライフラインです。

仙台市では、市民の皆さまに安心して下水道をお使いいただけるよう「仙台市下水道事業中期経営計画（平成 28～令和 2 年度）」を策定し、事業を進めています。この計画では、令和 2 年度までに達成すべきサービス水準（目標値）を設定し、その達成に向けて事業を着実に進めるとともに、市民の皆さまに事業の現状や課題に対する理解を深めていただくため、毎年度取組み状況を公表することとしています。

この「お知らせ」では、令和元年度の下水道事業の主な取組み実績を皆さまにお知らせします。



下水道には、「汚水処理」と「雨水排除」の 2 つの役割があります。



より良いサービスを提供するため、仙台市下水道事業中期経営計画に基づいて事業に取り組んでいます。

2. 令和元年度の主な取り組み実績

下水道施設の適正な維持管理

汚水管内で木の根が生長して管が詰まったり、老朽化に伴って管が壊れ、道路陥没を起こすことがあります。清掃や点検など適正な維持管理を行っています。

汚水管詰まりの回数			
現状値 (H26)	目標値	R元実績	H28~R元平均
628回	H28~R2平均で現状値より減少	489回	490回

陥没件数			
現状値 (H26)	目標値	R元実績	H28~R元平均
89件	H28~R2平均で現状値より減少	87回	82回

浸水対策

浸水被害の軽減に向け、10年に1回程度の大雨（10年確率降雨）に対応する雨水排水施設の整備を進めています。

10年確率降雨に対応した雨水排水施設整備率		
現状値 (H26)	目標値	R元実績
33.5%	R2で36.0%	35.7%

地震対策

地震に強い管路や施設とするため補強工事（耐震化）を進めています。

耐震化率（管路）		
現状値 (H26)	目標値	R元実績
33.8%	R2で40.6%	41.0%

耐震化率（施設）		
現状値 (H26)	目標値	R元実績
6.7%	R2で71.1%	59.0%



木の根による詰まり
（木の根除去前）



（木の根除去後）



管の破損箇所から木の根が入り、汚水管が詰まったので根を除去しました。

雨水の流出量を抑制するための施設を市民センターに設置しました。



流出抑制施設

放流水質の適正維持

浄化センター（下水処理場）では、下水を適切に処理し、水環境の保全を図っています。

放流水質基準超過回数		
現状値 (H26)	目標値	R元実績
—	毎年度0回	0回

温室効果ガスの排出抑制

浄化センターやポンプ場では、電力などのエネルギーを大量に消費しますが、省エネルギー機器の導入などによって、温室効果ガス排出量の削減を行っています。

温室効果ガス排出量		
現状値 (H26)	目標値	R元実績
55,088 t-CO ₂ /年	R2で53,435 t-CO ₂ /年	51,773 t-CO ₂ /年

効率的な経営

汚水処理原価（汚水をきれいにする費用）は、浄化センターの維持管理費の増加などにより、H26年度実績より高くなっています。経費削減に取り組みながら、効率的な経営を行っています。

経費回収率		
現状値 (H26)	目標値	R元実績
121.3%	毎年度100%以上	116.4%

汚水処理原価			
現状値 (H26)	目標値	R元実績	H28~R元平均
123.8 円/m ³	H28~R2平均で現状値より減少	128.2 円/m ³	128.5 円/m ³

水質検査の様子



事業場排水が下水道への排除基準に適合しているか、水質を検査している様子です。



お客さま満足の上昇

令和元年度は、東日本台風による大雨の影響で多くの苦情要望があったことから、苦情件数が微増しました。これらの苦情要望や本市下水道事業に対するアンケートの結果を、お客さまからの大切な声として、今後の下水道事業サービスの向上に反映させてまいります。

苦情件数			
現状値 (H26)	目標値	R元実績	H28~R元平均
3,405件	H28~R2平均で現状値より減少	3,423件	3,070件